

代数学の用語で体(たい)とは、集合  $K$  に加法と乗法という二つの二項演算が定義されていてそれらが「体の公理」と呼ばれる条件を満たすものですが、体の公理をすべて満たしているにもかかわらず体ではないようなものが存在します。それはつまり  $K$  が集合ではなく真クラスになる場合ということなのですが、今回はそういった例の一つである Surreal number というものについて話そうと思います。